

令和5年度熱田区区政運営方針の取組結果

1 全体の状況

令和5年度熱田区区政運営方針では、「住みたくなるまち 訪れたいまち あったか熱田」をめざして全45項目の取り組みを掲げました。これらの取組項目の達成度は下表のとおりです。

将来像	達成度	☆☆☆ (概ね8割以上)	☆☆ (概ね5割以上)	☆ (5割未満)
安心・安全で快適なまち		12	2	1
安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち		8	0	0
誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち		11	0	0
歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち		7	0	0
皆さまに信頼されるあったか区役所		3	1	0
計		41	3	1

「達成度」の評価は、以下の基準による事業担当課の自己評価を踏まえ、区長以下区役所全体で内部評価を行い決定しました。

☆☆☆：概ね8割以上 ☆☆：概ね5割以上 ☆：5割未満

今回、☆☆や☆と評価した項目については、熱田区将来ビジョンに基づいて、手法を検討するなどにより、令和6年度も引き続き努力してまいります。

さらに、☆☆☆と評価した項目についても、区民の皆さまにご満足いただけるよう、継続的に取り組んでいくことが必要であると考えています。

2 各項目の取組結果

将来像 1 安心・安全で快適なまち

取組項目	取組 1 防犯対策	継続
取組内容	<p>①犯罪被害を防ぐため、地域の皆さまや警察、郵便局などと協働してキャンペーンなどの啓発活動、及び青色回転灯装備車などによるパトロールを実施します。</p> <p>②広報なごや、行政情報モニター、区公式ツイッターなど各種媒体を活用した広報による啓発を実施します。</p> <p>③高齢者を狙った特殊詐欺被害防止について啓発します。</p>	地域力推進室 警察署生活安全課 福祉課
具体的な目標値	地域の皆さまや警察、郵便局などとの協働により防犯意識の啓発活動の実施 6回以上	
目標に対する実績	啓発活動の実施 10回	
取組結果	<p>【①・②について】 年4回の生活安全市民運動期間における重点事項を中心に、区内の犯罪状況等に応じて、特殊詐欺防止や自転車盗難防止などのキャンペーン及び啓発を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域等との協働によるキャンペーンの実施 10回 ・青色回転灯装備車によるパトロールの実施 22回 ・広報なごや区版に掲載 8回（4・5・8・10・11・1・2・3月号） ・行政情報モニターに掲載 2回（市民生活安全運動期間） ・区内で発生した事件や防犯情報を公式ツイッターに投稿 16回 ・区役所内にて啓発物品の窓口配架、のぼり旗掲出 <p>【③について】 高齢者の方に、特に多い固定電話による被害の状況を中心に説明し、被害防止の啓発を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食会で特殊詐欺防止についての啓発 ・ケアマネージャー研修で特殊詐欺防止についての講話 ・高齢者福祉相談員による訪問活動の際、特殊詐欺対策のチラシを配付 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 2 交通安全対策	継続
取組内容	①地域の皆さまや警察などと協働し、交通安全啓発活動を実施します。 ②区内小学校児童などへ基本的な交通ルールをわかりやすく伝える「交通安全教室」などを実施します。 ③高齢者の方々へ交通安全の啓発を実施します。	地域力推進室 警察署交通課 福祉課
具体的な目標値	地域の皆さまや警察などと協働し、交通安全啓発活動の実施 25 回以上	
目標に対する実績	交通安全啓発活動の実施 36 回	
取組結果	<p>【①について】 年 4 回の交通安全市民運動期間における重点事項を中心に、区内の交通事故状況等に応じて、交通死亡事故被害防止のキャンペーン及び自転車用ヘルメット啓発などを実施しました。 ・キャンペーン等の実施回数の合計 36 回 （内訳） ・交通安全県内一斉大監視 4 回 ・交通安全啓発キャンペーン 10 回 ・毎月、交通死亡事故ゼロの日の街頭活動 22 回</p> <p>【②について】 小学校の新入生へ交通ルールの分かりやすい説明や通学路の歩行訓練、高学年へ自転車安全利用の講話や実技講習などを警察や交通指導員により実施しました。 ・児童・生徒対象の交通安全教室 13 回</p> <p>【③について】 高齢者へ反射材の着用などの歩行者安全確保や自転車安全利用の啓発を警察と実施しました。 ・給食会等で高齢者への啓発 6 回 ・高齢者福祉相談員訪問活動の際、交通事故防止のチラシを配付</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 3 放置自転車対策	継続
取組内容	<p>地域の皆さまや大学などと協働して放置自転車防止に向けたキャンペーンなどの啓発活動を実施します。 自転車等放置禁止区域で放置自転車の撤去を実施します。</p>	<p>地域力推進室 土木事務所</p>
具体的な目標値	<p>地域の皆さまと協働し、放置自転車対策の実施 5 回以上</p>	
目標に対する実績	<p>放置自転車対策の実施 4 回</p>	
取組結果	<p>放置自転車追放月間（5 月・11 月）を中心に、自転車安全利用促進協調月間（5 月・11 月）の自転車安全利用の啓発、地域や大学のクリーンキャンペーンと連携し放置自転車防止の啓発を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自転車マナーキャンペーンの実施 2 回（4 回予定中 2 回雨天等により中止） ・ 名古屋学院大学マナー向上キャンペーンの実施 2 回 ・ 自転車等禁止区域における放置自転車撤去の実施 127 回 	
取組全体の達成度	<p style="text-align: center;">☆☆☆</p>	

取組項目	取組 4 空家及びいわゆる「ごみ屋敷」対策	継続
取組内容	<p>①空家について、区民の皆さまからの相談を受け、所有者に対し空家の適切な管理に向けて依頼や指導を行うとともに、情報提供など必要な支援を行います。</p> <p>②空家やいわゆる「ごみ屋敷」について、関係機関と連携しながら解決をめざします。</p>	<p>地域力推進室 その他関係機関</p> <p>地域力推進室 民生子ども課 福祉課 保健予防課 その他関係機関</p>
具体的な目標値	空家の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
目標に対する実績	空家の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
取組結果	<p>【①について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民からの相談や土木事務所など関係公所からの通報を受け、適切に管理されていない空家の所有者等の調査を実施しました。 ・適切に管理されていない空家の所有者に対して、電話や文書により適切な管理を依頼しました。 <p>【②について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関相互の情報交換などのため、熱田区空家等対策PT会議8回、熱田区空家等対策会議、熱田区ごみ屋敷対策会議を開催しました。 ・今年度の空家等対策PT会議において、区で調査中の空家から、周辺に危険や悪影響を及ぼしている「特定空家等」に3件認定しました。その後、局と連携して指導及び補助金の活用の助言等により2件解消しました。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 5 戸別訪問による防災啓発	継続
取組内容	消防職員などが実施学区内全世帯を訪問し、家庭における防災対策の実施状況を聴取し、各家庭の状況に応じた防災啓発を実施します。	消防署 総務課
具体的な目標値	区内 2 学区を対象に戸別訪問の実施	
目標に対する実績	野立学区内約 4,200 世帯、大宝学区内約 4,400 世帯を対象に戸別訪問の実施	
取組結果	消防職員が、野立学区内約 4,200 世帯、大宝学区内約 4,400 世帯を対象に戸別訪問、家庭における防災対策の実施状況を聴取し、各家庭の状況に応じた防災啓発を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 6 家具転倒防止ボランティアの養成及び派遣	継続
取組内容	南海トラフ巨大地震などによる震災被害を軽減するため、自力で家具転倒防止対策ができない世帯に対し、家具転倒防止ボランティアを派遣することで自助力の向上を支援します。	消防署 総務課
具体的な目標値	家具転倒防止ボランティア派遣世帯数 30 世帯以上 家具転倒防止ボランティア派遣を受けた世帯の満足度 100%	
目標に対する実績	家具転倒防止ボランティア派遣世帯数 30 世帯 家具転倒防止ボランティア派遣を受けた世帯の満足度 100%	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 家具転倒防止の啓発及びボランティア派遣希望世帯の募集広報を実施（熱田区区民まつり等のイベント、出張！家庭の防災教室、戸別訪問、学区だより、回覧板でのパンフレット配布、社会福祉協議会の会議出席、福祉課の老人クラブの会議出席、各学区の老人会・おひさまクラブ・給食会への出席など） 消防局が主催する家具転倒防止技術研修会へのボランティアの参加 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 7 区民総ぐるみ災害対応訓練の実施	継続
取組内容	<p>風水害や地震災害に備えて、区民の皆さま・大学・企業・行政機関などが一丸となり、家庭や地域での災害対応に関する実践的な訓練や講習などを実施します。また、全区区で安否確認訓練を行います。</p> <p>訓練は障害者、高齢者、乳幼児などの要配慮者に配慮しながら実施します。</p> <p>総合水防訓練・・・5月28日（日）会場：旗屋小学校 総合防災訓練・・・9月3日（日）会場：千年小学校</p>	<p>総務課 その他防災関係機関</p>
具体的な目標値	<p>訓練参加者向けのアンケートにおける役立つと思った方の割合 80%以上</p>	
目標に対する実績	<p>総合水防訓練のアンケートにおける役立つと思った方の割合 94.4% 総合防災訓練のアンケートにおける役立つと思った方の割合 91.2%</p>	
取組結果	<p>総合水防訓練については、①区本部及び各区隊、熱田警察署の連携訓練として区連絡会議の開催などを、②災害救助地区本部委員向け訓練として地下式給水栓操作訓練や防災倉庫の確認、無線 LAN 接続訓練などを、③住民参加型訓練としてブース訓練などを実施しました。</p> <p>総合防災訓練については、①区本部及び各区隊、熱田警察署の連携訓練として区連絡会議の開催などを、②災害救助地区本部委員と住民向けの訓練として初期消火訓練や救出・救護訓練、千年小学校の避難所機能の確認などを実施しました。</p> <p>また、訓練参加者（全区区委員長、千年学区自主防災会長等）に対し、「安否確認とは」を座学形式で示し、今後は町内会単位の自主防災組織の訓練に安否確認を訓練メニューの一つとして取り入れてもらえるようにと説示しました。</p>	
取組全体の達成度	<p>☆☆☆</p>	

取組項目	取組 8 自主防災組織の育成支援	継続
取組内容	阪神・淡路大震災の際に救助された方の約 8 割が隣近所の住民により救助されていたことを考慮して、大規模地震発生初期に隣近所で助け合えるよう、自主防災組織に対し防災診断書を作成し地域の実情に応じた支援を計画的に行うことで、地域における災害対応能力の向上を推進します。	消防署
具体的な目標値	防災診断書を作成し、地域の実情に応じた防災対策の支援に着手した自主防災組織の割合 100%	
目標に対する実績	防災診断書を作成し、地域の実情に応じた防災対策の支援に着手した自主防災組織 73%	
取組結果	総合防災訓練会場で訓練参加者（全学区委員長、千年学区の自主防災会長）に対し「安否確認訓練とは」を示しました。その後、各町内会長を回り各町内会の実情に合わせた訓練方法を提示し実践してもらおう等、地域事情を踏まえた共助の態勢が強化されました。	
取組全体の達成度	☆☆	

取組項目	取組 9 大規模災害時における地域と事業所との支援協力	継続
取組内容	大規模災害時における地域と事業所との支援協力に関する覚書の締結を支援します。 また、既存の覚書の実効性を高めるため、地域と協力事業所との訓練などを支援します。	消防署
具体的な目標値	新規の地域防災協力事業所との覚書締結 3 件以上	
目標に対する実績	学区と事業所との覚書の締結件数 0 件	
取組結果	事業所に対し締結内容の確認等を実施し、74 件の締結件数を維持しました。 各学区には事業所の位置と支援内容を記した地図を配布しました。 地域と事業所との訓練については 1 件の訓練を支援し、今回は応急給水栓の訓練を行いました。	
取組全体の達成度	☆	

取組項目	取組 10 地区防災カルテを活用した地域防災力の向上	継続
取組内容	<p>地域における「自助力」「共助力」を高めるため、地区防災カルテを活用し、想定し得る最大規模の災害への対応を含めた地域防災力を高める取り組みを進めます。</p> <p>また、安否確認や速やかな救出、避難誘導ができるよう避難行動要支援者対策を推進します。</p>	総務課 消防署
具体的な目標値	地域防災力の向上のための話し合い 6回以上	
目標に対する実績	地域防災力の向上のための話し合い 6回実施	
取組結果	<p>主な協議内容</p> <p>①風水害時の避難所の開設について（7学区災害救助地区本部長）</p> <p>②台風接近時の災害救助地区本部長の動きについて（野立・大宝・船方学区）</p> <p>③LINE オープンチャットを活用した緊急連絡網や防災啓発品などについて（船方学区）</p> <p>④地震発災直後の活動内容や自主防災組織について（野立学区）</p> <p>⑤コミセンの備蓄物資や避難スペース、避難所の開閉について（大宝学区）</p> <p>⑥防災倉庫について（大宝学区）</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 11 指定避難所運営力の向上	継続
取組内容	住民参加型の指定避難所開設運営訓練などを通して、避難所運営のスキルを高める取り組みを進めます。 指定避難所開設運営訓練 11月頃実施 会場：白鳥小学校	総務課
具体的な目標値	訓練参加者向けのアンケートにおける役立つと思った方の割合 80%以上	
目標に対する実績	訓練参加者向けのアンケートにおける「役に立つ」と「少し役に立つ」の割合 84%	
取組結果	令和6年3月17日に南特別支援学校で実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 12 区災害対策本部の機能強化	継続
取組内容	①新規職員及び異動職員を対象とした区本部災害対応研修を実施し、区役所における「公助力」を高めます。 ②指定避難所など派遣職員向けの研修を実施します。 ③区災害対応マニュアルに基づき、関係機関と連携して区本部災害対策図上訓練を実施します。	総務課
具体的な目標値	区本部職員の災害時対応の理解度 100%	
目標に対する実績	③の訓練参加者向けのアンケートにおける「よく理解できた」と「まあまあ理解できた」の割合 70%	
取組結果	①4月25日に新規職員及び異動職員を対象とした災害対応研修を実施しました。 ②指定避難所等派遣職員（新規職員、異動職員、市税事務所職員及び指定動員者）向けの研修を10月4日、5日に実施しました。 ③区本部の班長に対して詳細なシュミレーション訓練を実施するとともに、12月20日に区本部災害対策図上訓練を実施しました。	
取組全体の達成度	☆☆	

取組項目	取組 13 災害ボランティア団体との連携強化	継続
取組内容	総合防災訓練など大規模な訓練を中心に、災害ボランティア団体の参加協力を得ながら訓練を開催します。	総務課 社会福祉協議会
具体的な目標値	災害ボランティア団体とともに各種訓練を実施 2回以上	
目標に対する実績	災害ボランティア団体とともに各種訓練を2回実施	
取組結果	総合水防訓練と総合防災訓練にあつた災害ボランティアネットワークに参加いただき、参加住民向けに非常持出袋や災害用トイレの準備の必要性などを啓発しました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 14 町を美しくする運動	継続
取組内容	①地域の皆さまや大学との連携により清掃活動を実施します。 ②地域の皆さまからの相談を受け、空地の適切な管理に向けて、所有者に対し啓発や指導を行います。	地域力推進室
具体的な目標値	地域の皆さまや大学との連携により清掃活動の実施 4 回以上 空地の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
目標に対する実績	地域の皆さまや大学との連携により清掃活動の実施 14 回 空地の所有者に適切な管理について啓発や指導の実施	
取組結果	【①について】 町を美しくする運動の実践活動を中心に地域住民などと一体となって清掃活動を実施しました <ul style="list-style-type: none"> ・全市一斉クリーンキャンペーンとして5～6月各学区清掃活動を実施 7回 ・地域の方々や名古屋学院大学との連携により清掃活動実施 6回（2回雨天等により中止） ・12月大宝学区にてクリーンキャンペーン実施 【②について】 空き地をきれいにする運動を中心に、学区の協力のもと雑草・ごみ等で汚れた空地の実態調査を行い、所有者・管理者に対してこの運動への理解を求め、適正管理を依頼しました <ul style="list-style-type: none"> ・空地の不適切な管理について、対象となる空地の調査及び所有者あて適切な管理を依頼する文書を送付 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 15 ペットの適正な飼い方と災害時対応の普及啓発	継続
取組内容	①狂犬病予防集合注射会場で、市獣医師会とともに犬の飼い方やしつけの仕方などについて啓発します。 ②地域の皆さまと協働しながら、飼い主に対して適正な飼い方について普及啓発します。 ③関係機関と協力し、ペットとの同行避難訓練、ペットの災害対策啓発活動を実施します。 ④なかよしペット事業（ペットの適正な飼い方、終生飼養、身元表示に関する啓発）を実施します。	健康安全課
具体的な目標値	地域における巡回指導・キャンペーンの実施 10 回以上 ペットの災害対策啓発活動の実施 2 回	
目標に対する実績	地域における巡回指導・キャンペーンの実施 13 回 ペットの災害対策啓発活動の実施 2 回	
取組結果	【①について】 4 月 狂犬病予防集合注射会場（2 か所）で、来場者に犬の適正飼養及び災害対策に関する啓発を実施（114 頭来場、リーフレット等 6 種類配布 684 枚） 【②について】 保健環境委員と協働で地域の巡回キャンペーンを実施。保健センター職員による巡回指導を実施（巡回指導及びキャンペーン 13 回） 【③について】 9 月 総合防災訓練において、ペットとの同行避難訓練及びペットの災害対策啓発活動を実施（参加者数 49 名）また、イオンモール熱田で開催されたみんなの防災習慣において、ペットの災害対策啓発活動を実施（参加者数 141 名） 【④について】 10 月 区民まつりにおいて、なかよしペット事業を実施（参加者数 362 名）	
取組全体の達成度	☆☆☆	

将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

取組項目	取組 16 妊娠期からの切れ目のない支援	継続
取組内容	<p>①妊娠中のご夫婦ご家族が、子育てに関する問題解決のスキルを学び、出産後の子育ての不安を解消し、安心して育児ができるよう支援します。</p> <p>②妊娠届や出生報告提出時の面接などや妊娠 32 週頃の電話相談などを行い、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるよう支援します。</p> <p>③出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に保健師・助産師による訪問を行います。また、必要時には医療機関との連携を密にし、早期訪問につなげます。</p> <p>④3 か月児、1 歳 6 か月児、3 歳児を対象とした健診を実施し、乳幼児の疾病予防、健康の保持増進及び保護者への養育支援を行います。</p>	保健予防課
具体的な目標値	<p>ニューファミリーセミナーを 4 日コース年 6 回開催 妊娠届・出生報告を提出された全ての方に面接などの実施 妊娠 32 週頃の全ての妊婦に電話相談などの情報提供の実施 出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に保健師・助産師による家庭訪問の実施 健診対象年齢の全ての乳幼児への健診の実施</p>	
目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ニューファミリーセミナーを 4 日コース年 6 回のうち 6 回開催 ・妊娠届・出生報告を提出されたすべての方への面接など 977 件(100%)実施 ・妊娠 32 週頃の妊婦へ電話相談等 355 件(99.7%) 実施。里帰り電話・手紙への返答がない方が 1 人ありましたが、出産後訪問実施しました。 ・新生児・乳児訪問 401 件 (100%)実施。 ・3 か月児健康診査、1 歳 6 か月児健康診査は 100%実施、3 歳児健康診査は 97%実施、未受診者に関しては追跡中。 	
取組結果	<p>①妊娠中を健康で安全に過ごしていただくため、多職種による話や沐浴・妊婦体験などの教室を 4 日コースで開催。コロナ禍は座学に人が集まらない傾向にありましたが、5 類移行後、座学への参加人数も増えました。</p> <p>②妊娠届や出生報告提出時の面接などや妊娠 32 週頃の妊婦に電話相談等を行い、不安を軽減し、安心して出産・育児に臨めるように支援しました。妊娠 32 週の電話・手紙に里帰りをされていた方で 1 件返答がない方がいましたが、出産後訪問にて支援しました。</p> <p>③出生報告を提出された新生児・乳児のいる全家庭を対象に保健師・助産師による訪問を行いました。また、必要な妊産婦については医療機関や</p>	

	<p>関係機関と連携を取り、早期に訪問や面接等で支援をしました。</p> <p>④未受診者の関しても追跡ができていますので、ほぼ 100%の健診対象年齢の乳幼児への健診が実施できました。</p>
取組全体の達成度	☆☆☆

取組項目	取組 17 子育て支援に係る情報発信	継続
取組内容	<p>①第 1 子が誕生した家庭に、主任児童委員が「赤ちゃん訪問」を実施し、「あつた子育てカレンダー」や LINE により、地域の子育て交流会などの情報を提供します。</p> <p>②親身になった相談対応とともに、複雑化している保育施設に係るさまざまな情報を的確に提供します。</p>	<p>民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会</p> <p>民生子ども課</p>
具体的な目標値	<p>「赤ちゃん訪問」訪問率 95%以上（転出者・区不在者を除く） 令和 6 年 4 月 1 日現在の待機児童数 0（ゼロ）</p>	
目標に対する実績	<p>①訪問率 97.0%（転出者除く依頼件数 230 件中 223 件訪問） ②令和 6 年 4 月 1 日現在の保育所利用の待機児童数 0</p>	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 子の赤ちゃんが誕生した家庭の 95%以上に訪問しました。 ・ 子育て交流会等の情報を掲載した「あつた子育てカレンダー」を毎月発行しました。同カレンダーを社会福祉協議会のホームページに掲載するとともに、区内の子育て関係機関に配付しました。 ・ 区内の子育て関係機関の連絡先を掲載した「あつた子育てガイド」を作成し、区内の子育て関係機関に配付しました。 ・ 子育てに関するイベントや学区子育て交流会の情報等を熱田区子育て支援ネットワーク連絡会公式 LINE にて発信しました。 ・ 令和 6 年 4 月 1 日現在の保育施設利用の待機児童 0 ・ 相談者のニーズに添うべく、区内保育施設の空き状況のみならず、過去の利用選考の結果をデータ化することで、利用の相談の際、様々な視点から分かりやすい形で情報提供をすることができました。また、近隣区役所と連携し、他区の子育て施設の情報も提供することができました。 ・ 発達の遅れなど障害をお持ちのお子様の利用相談については、保健センター、療育センター等関係機関と連携し、保護者の要望を踏まえながら、お子様にとって最善の方法を一緒に検討するなど、特に配慮をしました。 ・ 未就園児の保護者を対象に、職員が学区子育て交流会・児童館・図書館に出向いて保育所や一時保育事業について説明を行ったり、個別相談に応じる出張説明会を開催したりしました。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 18 子育ての仲間づくり	継続
取組内容	<p>①子育て家庭の交流を図ることなどにより子育てを支援するため、区内の保育施設や主任児童委員、子育て支援団体と連携して「あつたっ子ひろば」を開催します。オンラインによる実施を含め、新型コロナウイルス感染症の影響を受けないよう工夫し、開催します。</p> <p>②地域で孤立し、交流の機会がない子育て中の親が多いことから、育児の不安や悩みを一人で抱え込むことがないように、対象者の特性に応じた子育て教室などを感染対策を徹底し行います。</p>	<p>民生子ども課 保健予防課 社会福祉協議会</p> <p>保健予防課</p>
具体的な目標値	<p>「あつたっ子ひろば」などの参加者の満足度 90%以上</p> <p>「0歳のための子育て教室」（0歳児後半を対象とした子育て教室）の開催 12回</p> <p>「カンガルークラブ」（育児に不安を感じている母親を対象とした教室）の開催 6回</p> <p>「チェリー・きっず・クラブ」（多胎児の親と妊婦を対象とした教室）の開催 6回</p>	
目標に対する実績	<p>①「あつたっ子ひろば」などの参加者の満足度 100%</p> <p>②「0歳のための子育て教室」 12回開催 「カンガルークラブ」 4回開催 「チェリー・きっず・クラブ」 6回開催</p>	
取組結果	<p>①11月29日に講堂で「あつたっ子ひろば」を開催しました。前年度よりも規模を拡大し、50組107人の親子に参加いただきました。手遊びやおもちゃ遊び、足形取りなど、様々なコーナーで楽しんでいただきました。</p> <p>②「0歳のための子育て教室」は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い予約枠を10組から15組へ増やしました。「カンガルークラブ」は育児不安を持つ保護者を対象にグループミーティングを行っていますが、希望者が無かったため4回開催となりました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 19 子育てと介護の「ダブルケア」に関する啓発事業		継続
取組内容	<p>地域で活動している各団体が集う子育て支援ネットワーク連絡会などにおいて、ダブルケアを研究する名古屋学院大学関係者や当事者団体であるダブルケアパートナーの方と懇談会を開催するなど、ダブルケアを区全体で考えるための啓発事業に取り組みます。</p>		<p>民生子ども課 福祉課 保健予防課 社会福祉協議会</p>
具体的な目標値	<p>「ダブルケア」に関する懇談会の実施</p>		
目標に対する実績	<p>主任児童委員や子育て支援機関を対象に「ヤングケアラー」に関する講演会・グループワークを実施</p>		
取組結果	<p>ダブルケアは、広義では家族の中の複数のケアが重なっている状態をいいます。例えば、親の代わりに目が離せない祖父母の世話や見守りをしている子どもなど、ダブルケアの家庭にいる子どもは、近年社会問題となっている「ヤングケアラー（本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子ども）」となっていることも多く、ダブルケアとヤングケアの問題は密接に関わっています。</p> <p>そこで、名古屋学院大学と連携し、ヤングケアラーの理解を深めるための研修会を令和5年8月10日に開催しました。</p> <p>研修会は、主任児童委員、熱田区子育て支援ネットワーク連絡会及び名古屋学院大学学生計34人が参加し、名古屋学院大学の講師と当事者団体を招いてヤングケアラーに関する講演、経験談及びグループワークを実施しました。</p> <p>参加者アンケートからは、ヤングケアラーの取り巻く状況や問題点等について講演やグループワークを通じて考えることができ、今後の子育て支援活動に活かせるという意見が多く、研修満足度は100%と非常に有意義なものとなりました。</p>		
取組全体の達成度	<p>☆☆☆</p>		

取組項目	取組 20 児童虐待の防止	継続
取組内容	<p>①民生・児童委員や保育所、学校、警察などの関係機関との定期的な会合のほか必要に応じて情報交換を行い、援護が必要な家庭の早期発見に努めます。</p> <p>②区内における虐待通告に関し、家庭訪問などを行い実情把握に努めるとともに、関係機関と必要な情報を共有して、各ケースの援助方針について検討し、適切に支援します。</p> <p>③子育て中の親及び妊娠中のご夫婦を対象に、子育てに関する問題解決のスキルを学び、養育力の向上を図る子育て世帯応援講座を開催します。 ・イライラしない子育て講座（3回連続講座） ・あつたママ・パパ子育てミーティング（年3回程度開催）</p> <p>④児童虐待防止推進月間である5月と11月に、児童虐待防止推進のための各種啓発活動を行います。11月は保育所の子どもたちが制作したオレンジリボンに関するモニュメントの設置、及び大型商業施設などにおける啓発物品の配布を行います。</p>	<p>民生子ども課 保健予防課 西部児童相談所 警察署生活安全課 子ども応援委員会</p> <p>民生子ども課 保健予防課</p>
具体的な目標値	<p>関係機関との定期的会合（なごや子どもサポート熱田区代表者会議）の開催 各ケースの援助方針について検討する会議（実務者会議）の開催 各講座参加者の満足度 90%以上 オレンジリボンキャンペーンにおいて啓発物品の配布 100セット以上</p>	
目標に対する実績	<p>①令和5年7月12日になごやこどもサポート熱田区代表者会議を開催し、計17機関が参加し各機関の情報を共有しました。</p> <p>②実務者会議を毎月開催し、ケースの検討及び継続支援を行いました。</p> <p>③イライラしない子育て講座及びあつたママ・パパ子育てミーティングともに満足度は100%でした。</p> <p>④区内大型商業施設や保育所等利用申込時等において、啓発物品を120件以上配布できました。</p>	
取組結果	<p>①愛知県弁護士会から選任された委員を始めとする専門委員と主に子育て関係機関から選任された委員で構成された「なごやこどもサポート熱田区代表者会議」を令和5年7月12日に開催し、各関係機関の情報を共有するとともに、児童虐待防止のために各関係機関が連携して対応していくことを確認しました。</p> <p>②ケースの現況及び各機関による支援内容について情報交換し、対応方針を検討する実務者会議を毎月開催しました。また個別ケースを早急に検討するためのサポートチーム会議を2回開催しました。</p>	

	<p>③イライラしない子育て講座は、3回連続講座（託児あり）として10月18日、25日、31日に実施しました。各講座においては、参加者の子どもの年齢が近くなるように指定席とし、グループワークも取り入れました。参加者は計25人（うち男性は2人）で、自発的に保護者同士で話し合う姿も見られました。あつたママ・パパ子育てミーティングは6月14日、9月6日、2月13日に開催し、参加者は計11人でした。</p> <p>④児童虐待防止推進月間である5月と11月に、推進活動として区役所へのぼりを立ててのアピール、区職員、各団体へのオレンジリボンの周知を行いました。11月においてはさらに区役所内で行政情報モニターでの放映、啓発ツリーの設置と保育所の子どもたちが作成したモニュメントを掲示しました。また、大型商業施設における啓発物品を配布・配架しました。さらに、区役所での保育所等利用申込受付時と子育てイベント（イライラしない子育て講座及びあつたっ子ひろば）時にも配布しました。</p>
取組全体の達成度	☆☆☆

取組項目	取組 21 学校における思春期セミナー実施の支援	継続
取組内容	思春期セミナーを区内小中学校が主体的に実施することを支援します。	保健予防課
具体的な目標値	学校からの依頼に対して完全実施	
目標に対する実績	区内小学校7校中7校、中学校3校中3校で実施	
取組結果	命の大切さや自分や相手を思いやる心を育むよう、生命の誕生や性について学ぶことは、児童虐待予防にもつながることを伝え、早期での教育の実施を支援してきた。区内小学校7校中7校、中学校3校中3校で実施、また南特別支援学校の中等部と高等部でも実施できました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 22 子どもの健全な育成	継続
取組内容	<p>年少リーダー講習会やキャンプ実習、子ども会プロギング大会の開催、名古屋まつり「子ども会みこしパレード」への参加などさまざまな活動を通じ、子ども会の情報を発信し、関心を高めるとともに、参加を促します。その際は、新しい生活様式に従って開催するため、人数や開催方法を検討します。</p>	民生子ども課
具体的な目標値	年少リーダー講習会の開催 6回	
目標に対する実績	年少リーダー講習会の開催 6回	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・年少リーダー講習会（全6回予定） 5月 「お楽しみ会」区講堂・・・・・・・・・・5月14日開催 8月 「キャンプ事前講習会」区講堂・・・・・・・・8月27日開催 9月 「キャンプ講習会」戸田川緑地公園・・・・9月10日開催 「キャンプ事後講習会」岡崎駒立・・・・9月24日開催 12月 「クリスマス会」区講堂・・・・・・・・12月10日開催 1月 「ジュニアリーダーとのつどい」・・・・1月22日開催 ・区民まつり（10月8日） ブース参加（トラック・玉せん） ・名古屋まつり（10月22日） 子ども会みこしパレード参加（白鳥学区） ・プロギング（11月12日開催） 高蔵小学校周辺 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 23 事故や犯罪に巻き込まれない環境づくり	継続
取組内容	<p>①次世代を担う青少年が健全に成長できる環境づくりのため、子ども達への見守りや声かけを行う「青少年を守る運動」や「地域の世話やき活動」などの青少年健全育成活動を、地域の皆さま、学校、関係機関と連携して支援します。</p> <p>②子どもをインターネットの利用による犯罪から守るため、各種行事の場を通じて保護者や子どもにインターネットの安全利用について啓発します。</p> <p>③子どもの健やかな成長に寄与するため、親子ふれあい事業を実施します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	青少年を守るキャンペーン延べ参加者数 3,000 人 インターネット適正利用啓発の実施 3 回以上 親子のふれあいを深める講座の実施	
目標に対する実績	青少年をまもるキャンペーン延べ参加者数 10,254 人 インターネット適正利用啓発の実施 3 回 親子のふれあいを深める講座の実施 3 回	
取組結果	<p>①各学区において、夏休み・冬休みに合わせて青少年を守るキャンペーンを実施しました。併せて地域の世話やき活動を学区・地域の皆さまと実施しました。</p> <p>②子どもが参加対象者となるスポーツ行事や講座でインターネットの適正利用を呼び掛けるチラシを配布しました。併せて、12 月には総務省東海総合通信局より講師をお招きし小学生対象のクリスマス会でネットいじめなどに関する講演会を実施しました。</p> <p>③昨年度初めて実施した親子ふれあいいけばな体験教室を恒常的に開催することを決定し 10 月と 3 月に行われた花道展において親子ふれあいいけばな体験教室を実施しました。また、12 月に小学生対象のクリスマス会で親子で参加するボッチャ体験会を実施し、ユニバーサルスポーツを通して親子のふれあいを深める事業を初めて実施しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

取組項目	取組 24 文化活動の振興	継続
取組内容	<p>①区民の皆さまが生涯にわたって生き生きと活動し、地域社会のきずなを強められるよう、地域の文化団体と協働し、区民まつり文化祭やその他文化事業を実施し、文化に触れあい学べる機会を提供します。 ※区民まつり文化祭については、取組 35 に再掲</p> <p>②区民の皆さまが地域に愛着と誇りを持っていただけるよう、熱田生涯学習センターなどと連携し、地域の魅力について学べる機会を提供します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	<p>「春のいけ花展」「学生書道選抜展」の開催 地域の魅力について学べる講座の開催 2回</p>	
目標に対する実績	<p>「春のいけ花展」「学生書道選抜展」を開催 地域の魅力について学べる講座を開催 2回</p>	
取組結果	<p>①「春のいけばな展」「学生書道選抜展」を開催しました。春のいけ花展では「親子ふれあいいけばな体験教室」を併せて開催し、いけ花にあまり親しみのない方にもいけ花に触れていただく取り組みを行いました。</p> <p>②熱田区生涯学習センターと連携し、「体験しよう！熱田区の伝統文化」講座と「熱田区の文化財」講座を開催し、伝統文化や文化財をテーマに熱田の魅力を知ってもらうための講座を実施しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 25 スポーツの振興	継続
取組内容	各学区のスポーツ推進委員、区内のスポーツ団体や地域の皆さまと協力し、各種スポーツ大会を開催するとともに、スポーツに関する講座を開催するなど、区のスポーツ振興を推進します。	地域力推進室
具体的な目標値	成人を対象としたスポーツ事業の実施 11 事業 子どもを対象としたスポーツ事業の実施 3 事業 スポーツに関する各種講座の開催 3 事業	
目標に対する実績	成人を対象としたスポーツ事業の実施 11 事業 子どもを対象としたスポーツ事業の実施 3 事業 スポーツに関する各種講座の開催 3 事業	
取組結果	<p>成人を対象とした事業及び子どもを対象とした事業ともにこれまでの実績やニーズを踏まえ工夫を行いながら実施しました。</p> <p>スポーツに関する講座については、参加者の減少等の原因により実施を中止しました。</p> <p>熱田生涯学習センター、熱田区社会福祉協議会と共同でユニバーサルスポーツに親しむことができる講座を実施しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 26 健康づくりの推進	拡充
取組内容	<p>①区民の皆さまが集まる区民まつりや商業施設などで、専門職による健康相談や健康チェックを行います。</p> <p>②保健環境委員会などの地域団体と連携して、オーラルフレイル（※）、ロコモ（※）、低栄養などを内容とするフレイル（※）予防の教室や講座を実施します。</p> <p>※オーラルフレイル：口腔機能におけるフレイル。むせや食べこぼしなど、お口のささいな衰えの放置により、低栄養や社会的参加の減少を招き、心身機能まで影響を与える状態のこと。</p> <p>※ロコモ：関節や筋肉などの運動器の機能低下により、立ったり歩いたりすることが困難になってしまう状態</p> <p>※フレイル：虚弱を意味し、加齢により体と心の働きや社会的なつながりが弱くなった状態のこと。</p> <p>③コロナ禍で外出機会が減少した高齢者などが、健康づくりを始めるきっかけとして、区民健康づくりボランティアグループあつたロコモ予防大使とともに講演会と体験型コーナーを併設するイベントを開催します。</p>	保健予防課
具体的な目標値	<p>区民まつり、その他施設での出張健康相談の開催 フレイル予防教室の開催 各学区1回以上 あつたロコモ予防大使とともに行うイベントの開催</p>	
目標に対する実績	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設での出張健康相談を実施 ・保健環境委員を対象とした全学区合同のフレイル予防教室を開催 ・イベント等においてあつたロコモ予防大使によるオリジナル体操の啓発を実施 	
取組結果	<p><介護予防事業いきいき教室> 「あつた健康講座」 3回開催 ①運動 76名、②栄養 81名、③オーラルフレイル 36名参加</p> <p><地域健康づくり事業> 出張健康相談 2回開催 ①11月28日 相談者数：26名 ②12月13日 相談者数：17名</p> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民まつりにてオーラルフレイルの啓発事業実施 ・保健環境委員を対象とした全学区合同のフレイル予防教室 85名参加 ・シニアのための健康づくり応援講演会を開催 60名参加 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 27 新型コロナウイルスなどの感染症防止対策の普及啓発事業	継続
取組内容	区民の皆さまの感染不安を軽減するために、新型コロナウイルスなどの感染症予防に関する正しい知識や感染防止対策の普及啓発を行います。	保健予防課
具体的な目標値	区民向けの感染症防止対策の普及啓発をすべての学区（7学区）で実施	
目標に対する実績	各学区の高齢者サロン等で感染症防止対策の普及啓発を実施	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン等開催状況 地域合計：70回 高蔵：14回、旗屋：6回、白鳥：16回、千年：8回、船方：15回、野立：4回、大宝：7回 ・開催事業の中で感染症、熱中症、食中毒等の防止対策の講話など実施 ・総合防災訓練：約20名 ・年3回開催される「あつた健康講座」の参加者に感染症防止対策の資料の配布 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 28 包括的相談支援体制の構築	新規
取組内容	<p>①8050 世帯など複合的な課題を抱えている世帯や、制度のはざまにある世帯など、既存の対象者別サービスでは対応できない孤立した世帯が抱える多様化・複雑化した課題に対応するため、高齢者・障害者・子どもなどの属性や、相談内容を問わない包括的な相談支援体制を構築します。</p> <p>②多機関協働事業、アウトリーチなどを通じた継続的支援事業を実施します。</p> <p>③参加支援事業・地域づくり事業を実施し、解決困難なケースへの分野を超えた支援体制を構築します。</p>	福祉課 社会福祉協議会 区役所関係課 その他関係機関
具体的な目標値	重層的支援体制整備事業熱田区連携会議の開催（年2回） 重層的支援会議の開催（年3～4回程度に加え随時開催）	
目標に対する実績	重層的支援体制整備事業熱田区連携会議の開催 重層的支援会議の開催	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・区連携会議の開催 2回実施（第1回：10月、第2回：3月） ・重層的支援会議の開催 4回実施（第1回：8月、第2回：10月、第3回：2月、随時開催：12月） ・ケース検討会議の開催 開催回数：13回 ・重層的支援体制整備事業担当者会の開催 高齢、障害、子育て、生活困窮など、対象や分野を超えた関係機関との連携及び協働に向けて、連絡調整等を実施。9回実施。 ・参加支援・地域づくり支援 拠点「にばん荘ハウス」の運営 7月にオープン。火曜日・金曜日週2回開所。延べ開所日：62日、延べ利用者数：463名、延べ関係者来所者数：215名 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 29 地域福祉活動の支援	継続
取組内容	<p>①相談窓口開設、交流会開催によりふれあい・いきいきサロンの開設・運営支援を行います。</p> <p>②支援の必要な方を地域で日常的に見守り、助け合い、必要な福祉サービスにつなげる活動を町内など小エリアから推進します。</p> <p>③生活支援サービスの充実をめざし、地域で福祉活動できる人材の育成を行います。あわせて生活支援部会を開催し、生活支援サービスについて議論し開発・研究をします。</p> <p>④第 4 次地域福祉活動計画（※）の関連プロジェクトを推進します。</p> <p>※令和元年から 5 年間、熱田区が誰もが住みやすい福祉のまちとなるよう熱田区社会福祉協議会が事務局となり、地域住民・各種団体・行政などと一体で策定した福祉計画</p>	社会福祉協議会 いきいき支援センター 福祉課 保健予防課
具体的な目標値	ふれあい・いきいきサロンの新規開設 3 か所（89 か所→92 か所） 見守り支援エリア 3 増（16 エリア→19 エリア） 名古屋市地域支えあい事業 区内全域で実施	
目標に対する実績	ふれあい・いきいきサロンの新規開設 6 か所（89 か所→91 か所） 見守り支援エリア 5 増（16 エリア→21 エリア） 名古屋市地域支えあい事業 区内全域で実施	
取組結果	<p>①サロンの支援については、新型コロナウイルスの影響で休止していたサロンの再開支援を実施しました。また、財政面で運営助成金での支援を実施しました。新規サロン開設については、6 か所開設（4 か所廃止）することができました（89 か所→91 か所）。</p> <p>②見守りエリアについては5エリア増加することができました（16 エリア→21 エリア）。</p> <p>③生活支援部会は 3 回開催し、企業連携による見守り活動の担い手発掘や家財整理を支援するボランティア養成について議論しました。</p> <p>④ボッチャ普及活動や子ども食堂支援など複数の関連プロジェクトを地域住民や関係機関と連携して実施しました。また、当計画推進と併せて令和 6 年度から令和 10 年度を実施期間とする第 5 次地域福祉活動計画の策定に係る策定委員会を 7 回開催しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 30 高齢者虐待の防止	継続
取組内容	<p>高齢者虐待を防ぐため、高齢者及びその家族などに相談・通報窓口を案内します。また、虐待ケースについて高齢者虐待防止連絡会議・高齢者虐待防止ネットワーク支援会議を開催し、関係機関と連携を図り、支援についての検討を行います。</p>	<p>福祉課 保健予防課 いきいき支援センター</p>
具体的な目標値	<p>高齢者虐待防止連絡会議の開催 6回 高齢者虐待防止ネットワーク支援会議の開催 随時</p>	
目標に対する実績	<p>高齢者虐待防止連絡会議の開催 高齢者虐待防止ネットワーク支援会議の開催</p>	
取組結果	<p>隔月 高齢者虐待防止連絡会議開催（6回開催） 適宜 必要に応じて高齢者虐待防止ネットワーク支援会議を開催（4回開催）</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 31 高齢者の仲間づくりの推進	継続
取組内容	①老人クラブ主催の事業を支援するとともに、老人クラブ活動の PR を積極的に行い、高齢者の仲間づくりを支援します。 ②高齢者が住み慣れた地域でいきいきと生活できるよう、高齢者サロンの運営を支援するとともに、新規サロンの立ち上げを支援します。	福祉課 社会福祉協議会
具体的な目標値	老人クラブ活動の広報 8回 高齢者サロンの開催回数 400 回以上	
目標に対する実績	①区民まつり等の行事を通じて PR を実施、広報なごや 1 月号と 3 月号に記事を掲載。市老人クラブ HP に行事を掲載（10 行事）。区政協・民児協にて加入促進の広報実施。 ②高齢者サロンの開催回数 961 回	
取組結果	①通年 老人クラブ活動に対する支援を行いました。 随時 区民まつりブースにて加入促進の PR を行いました。 広報なごや 1 月号と 3 月号に加入促進の記事を掲載しました。 市老人クラブ HP へ行事などを掲載しました。 区政協・民児協にて加入促進の協力依頼を行いました。 ②通年 高齢者を対象とするサロンの運営の支援を行いました。 随時 高齢者を対象とするサロンの新規立ち上げ支援を行いました。	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 32 認知症の方や家族への支援	継続
取組内容	<p>①認知症の方とその家族を地域で支えていくために、あらゆる世代に向けて定期及び出張による認知症サポーター養成講座を実施します。</p> <p>②認知症の正しい理解を促進するために、各種取組を通じた広報啓発を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「認知症になっても安心して暮らせるまち熱田」絵画作品募集 ・認知症への理解を深める講演会などの実施 <p>③高齢者への地域見守り活動を郵便局と連携し、はいかい高齢者の早期発見に努めます。</p>	いきいき支援センター 社会福祉協議会 福祉課 保健予防課
具体的な目標値	認知症サポーター養成講座の定期開催・出前講座の開催 認知症啓発の絵画作品への応募点数 区内児童から 100 点以上 認知症講演会などの参加者の満足度 80%以上	
目標に対する実績	認知症サポーター養成講座の実施 『認知症になっても安心して暮らせるまち熱田』絵画作品の展示	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座の定期講座の開催を実施。また企業・学校からの依頼に応じ出前講座を実施しました。 実施回数：29 回（定期開催 12 回、出前講座 17 回）、参加者：392 名 ・絵画展の実施 認知症の人やその家族が安心して住み続けられるために、より多くの区民に認知症への理解・啓発を目的とし、区内の小学校へ通う児童全員へ募集チラシを配布し、応募があった作品の展示を熱田図書館およびイオンモール熱田にて行いました。 小学生配布枚数：2,785 枚、応募作品数：65 点 展示期間：令和 5 年 10 月 21 日～11 月 16 日（図書館） 令和 5 年 11 月 18 日～30 日（イオンモール熱田） ・認知症講演会の実施 12 月 8 日（金）参加者 72 名 満足度 97%（未記入の方を除く） ・郵便配達時に見守り活動を実施し、適宜情報共有を行いました。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 33 地域包括ケアシステムの推進	拡充
取組内容	<p>地域包括ケアシステム（※）の構築に向けて、行政、医療機関、介護保険関係事業者、住民などが協力しながら、活動を活性化する環境を整えるとともに、より多くの区民に、介護予防や認知症施策、地域における支え合い活動などのさまざまな取り組みに関心を持ち、理解を深めていただけるよう、周知・啓発を行います。また、そのためによりわかりやすく、世代を問わない広報を実施します。</p> <p>※介護や支援が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい、生活支援が一体的に提供されるシステム</p>	福祉課 保健予防課 社会福祉協議会 いきいき支援センター
具体的な目標値	地域包括ケア推進会議の開催 2回 関係機関による課題などの検討会議の開催 10回 講演会など各種啓発事業の実施 5回 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000部	
目標に対する実績	地域包括ケア推進会議の開催 2回 関係機関による課題などの検討会議の開催 10回 講演会など各種啓発事業の実施 7回 地域包括ケア啓発漫画冊子の作成・配布 4,000部	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に立ち上げた高齢者の見守り・孤立死防止を目的とする区全域を対象とした地域支援ネットワーク部会において、成年後見制度に係る講演会（63名参加）を実施しました。 また、緊急時あんしんキットについて使用方法を丁寧に説明の上、配布しました。（配布数：463セット） 地域包括ケアを多世代向けに広報するため、漫画冊子の作成・配布（4,000部）を実施したほか、SNS、ウェブサイトを活用してのデジタルツールを通じた情報発信も行いました。 認知症啓発として、小学生絵画展を熱田図書館およびショッピングモールで実施しました（応募総数65件）。また、事業者向けに、店舗に認知症サポーターがいることを示すステッカー配布事業を立ち上げました（17店舗に配布）。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 34 障害者への支援	継続
取組内容	<p>①防災訓練、区民まつり、エンジョイフェア（※）などにおいて、熱田区障害者自立支援連絡協議会や関係機関と連携し、障害や、障害のある人への理解を深める取り組みを推進します。また、ヘルプマークを広く周知します。 ※地域において障害のある人もない人も楽しみながら福祉に触れ、交流できるイベント</p> <p>②障害に対する理解を深めるため及び障害者の社会参画の機会を増やし自立を促進するために広報を充実し、区役所や区内商業施設における授産製品定期販売の実施を推進します。また、販売機会や商品開発などについて事業所間で定期的に情報交換を行う支援をします。</p> <p>③熱田区障害者自立支援連絡協議会と協働で障害者福祉に関する地域課題の検討、障害福祉サービス事業所向けの研修会を開催し、関係機関との連携を強化することで、多様なニーズへ対応し、適切な支援につなげるよう努めます。</p>	<p>福祉課 保健予防課 社会福祉協議会</p> <p>福祉課</p> <p>福祉課 保健予防課 社会福祉協議会</p>
具体的な目標値	<p>イベントなどにおけるヘルプマークの広報 4回以上 授産製品販売出店回数 23回(区役所及び区民まつり) 授産製品販売について区ウェブサイトなどで広報 24回 事業所向けの研修会の開催 2回以上</p>	
目標に対する実績	<p>イベントなどにおけるヘルプマークの広報 6回 授産製品販売出店回数 21回(区役所、区民まつりなど) 授産製品販売について区ウェブサイトなどで広報 20回 事業所向けの研修会の開催 9回</p>	
取組結果	<p>①防災訓練や区民まつりでは今年度もブース出展をすることができました。大変多くの方にご来場いただき、障害当事者の講話や車椅子体験・ボッチャ体験・ヘルプマークの広報など、障害や障害者についての理解を深める取り組みを行いました。</p> <p>②区役所定期販売では、区役所だけでなく図書館や文化小劇場利用者にも、PR できるよう、天候の良い場合、販売場所を図書館前に変更して販売活動を行いました。また、学区行事や区内イベント開催に合わせた販売活動も新に行いました。</p> <p>③従前とおりの対面での会議や研修も再開しつつ、より多くの事業所の方に参加してもらえるよう、ウェブも引き続き活用し取り組みました。また、コロナ禍で実施できなかった、施設の見学会なども今年度は積極的に行いました。</p>	

取組全体の達成度	☆☆☆
----------	-----

将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

取組項目	取組 35 区民の交流、ふれあいの場づくり	継続
取組内容	<p>地域への愛着心を高め、心の豊かさとぬくもりが感じられるまちづくりをめざし、区民相互のふれあいと交流の場として「熱田区区民まつり」を開催します。</p> <p>①「にぎわい秋まつり」において、区の魅力を活かした特色あるまつりを開催します。</p> <p>②区民の皆さまが相互に交流し、地域で生き生きと活動した成果を発表する「文化祭」として、区民書道展・美術展、秋のいけ花展、区民芸能オンステージを開催します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	<p>「にぎわい秋まつり」来場者数 12,000人以上</p> <p>「文化祭」来場者数 1,400人以上</p>	
目標に対する実績	<p>①「にぎわい秋まつり」来場者数 13,000人</p> <p>②「文化祭」来場者数 1,162人</p>	
取組結果	<p>①午後から雨が降り始め、残念ながら午後1時45分に終了しました。ただ、お絵かきバス受付を午前9時にしたことにより、多くの家族連れが朝早くから来場し、午前中はかつてないほどの大盛況となりました。ステージではあつた名物を賞品とした公開抽選会を行ったほか、地域団体の活動発表の場として和太鼓やダンスなど来場者に楽しんでいただける内容になりました。</p> <p>②区民の皆さまが相互に交流し、地域で生き生きと活動した成果を発表する「文化祭」として、区民書道展・美術展、秋のいけ花展、区民芸能オンステージを開催しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 36 地域資源を活用した魅力発信	継続
取組内容	<p>大学、商店街などの各種実施団体と協働で「あったか！あった魅力発見市」を開催します。区内外からお越しいただく多くの方に熱田の魅力を再発見していただけるよう、区内各所にマルシェを設置し、それぞれのマルシェが特色を活かした熱田の魅力を発信します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	公共交通機関によるイベントとのコラボレーションの実施	
目標に対する実績	公共交通機関によるイベントとのコラボレーションの実施	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に比べ来場者が 1 万人増加 ・ JR 東海のさわやかウォーキングイベントと同日開催し、区外・市外から来場者を呼び込むことができました。 (ウォーキングコース 熱田駅→熱田神宮西門→宮の渡し公園→白鳥庭園→白鳥公園→熱田神宮公園→尾頭橋親水広場→金山駅) ・ マルシェを 1 カ所増設 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 37 “あつた人（びと）” 育成事業 VR を活用した熱田周遊向上事業	拡充
取組内容	熱田のさまざまな魅力を区内外の方に発信し、新たな“あつた人（びと）”の育成を目的として、「東海道随一の賑わい」と言われた熱田・宮宿を中心とした江戸時代の熱田の町並みを VR（仮想現実）で体感できるコンテンツの開発をはじめ、区内の史跡などを巡っていただくための企画を実施します。	地域力推進室
具体的な目標値	参加者数 3,000 人以上	
目標に対する実績	参加者数 4,444 人	
取組結果	<p>「東海道随一の賑わい」と言われた熱田・宮宿と東海道唯一の海路であった宮の渡しの 2 地点の周辺を VR で再現し、その成果物を使用した体験会を区内で行われたイベントで実施しました。また、観光に関する会議の場や地域の図書室などにも出展し、より多くの方に体験いただけるような取り組みも行いました。</p> <p>また、区内の歴史的スポットを楽しく巡っていただくための謎解き企画を 10 月から翌年 1 月末まで実施しました。</p> <p>なお、上記参加者数以外にも、区内の歴史的スポットを巡るアプリへのアクセスが 1,171 件ありました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 38 歴史資料展示	継続
取組内容	<p>熱田の魅力を多くの人に発信し、次世代へとつなげていくため、区役所 1 階の歴史資料展示コーナーや区民まつりなどのイベントにおいて、保有する歴史資料を展示します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	歴史資料展示コーナー来場者の満足度 80%以上	
目標に対する実績	歴史資料展示コーナー来場者の満足度 80.8%	
取組結果	<p>第 25 回歴史資料展示「吉田初三郎と鳥瞰図」（令和 5 年 4 月～令和 5 年 9 月）および、第 26 回歴史資料展示「絵馬と馬の塔」（令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月）を実施しました。また、区民まつり・熱田生涯学習まつりにて歴史資料展示を実施しました。</p> <p>より多くの方に歴史資料展示コーナーを訪れてもらうことを目的として、区役所 1 階に設置してある広報映像配信システムでの広報画像の表示を行いました。</p> <p>さらに、区内商業施設に熱田区にまつわる歴史資料の展示を行い、より多くの方に地域の歴史資料に触れていただく機会を作りました。</p> <p>より良い展示ができるようボランティアの自己研鑽にも取り組み、西尾市岩瀬文庫への展示勉強会や古文書の研修を行いました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 39 熱田ブランドの推進	拡充
取組内容	<p>産学民官が実施する各取り組みを情報共有、連携及び協力し、重層的に存在する熱田の魅力を区内外に発信します。</p> <p>①熱田ブランドを次世代へとつなげていくため、熱田の発展に寄与しその魅力を発信する人、すなわち「あつた人（びと）」育成事業を進めます。</p> <p>②熱田ブランドロゴマークなどを活用し、「熱田ブランド+（プラス）」のウェブサイトやInstagramで一元的に熱田の魅力や情報を発信します。</p>	企画経理室
具体的な目標値	Instagramのフォロワー数 1,000人以上	
目標に対する実績	Instagramのフォロワー数 1,436人	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や文化をはじめさまざまな熱田の魅力を発信していくために、名古屋学院大学と連携し、Instagramを活用して、学生の視点による熱田の魅力を情報発信しました。 ・熱田神宮をはじめ熱田区の歴史的資産を周遊するコースをInstagramで複数投稿するなど情報発信を行いました。 ・区内外の方から熱田の魅力を幅広く発信していただくために、熱田区に行ってみたくなる写真を募集テーマとしたフォトコンテストをInstagram上で開催しました。入賞した作品は来年度以降、Instagramなどの広報ツールを活用して情報発信していきます。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 40 町内会・自治会への加入促進の支援	継続
取組内容	<p>①町内会・自治会の重要性について、防災イベントなどの機会をとらえ広報するとともに、区ウェブサイトや広報なごや区版などで発信します。また、町内会・自治会が行う交通安全運動や防犯灯の設置などの地域活性化への取り組みを区公式ツイッター、広報なごや区版などで紹介していきます。</p> <p>②地域活動の担い手不足などの課題解決のため、地域活動の支援を進めます。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	町内会・自治会の必要性について各種媒体を活用し広報	
目標に対する実績	町内会・自治会の必要性について各種媒体を活用し広報	
取組結果	<p>【①について】 町内会加入の取次ぎ及び町内会の活動啓発を中心に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入者向け生活情報誌「ようこそ名古屋へ」に町内会加入リーフレットと加入申込書を挟み込み（1,860枚） ・市民課窓口を設置してある町内会加入申込書投函ポストに投函された申込書や地域力推進室へ届いた町内会加入申込メールを町内会長へ取り次ぎ（9件） ・広報なごや区版に町内会の重要性を掲載：4～6月、9～3月 ・区ウェブサイト「区長の部屋」で、コミュニティサポーターが参加した各学区の行事のPR記事を掲載 ・地域の行事PR事業について、地域イベントを区ウェブサイトでPR(5件) ・区X、区役所庁舎内のモニターにて町内会の取り組みを発信（区Xは毎月2回発信、モニターは毎月2種類配信） <p>【②について】 新たな担い手の確保につなげるため、地域活動へ若者の視点を取り入れたり、活動の大切さを周知する事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の夏祭りで「地域活動PRブース」を出展し、若い世代を対象に地域活動の周知や町内会自治会活動に関するアンケートを実施し、その結果について区内の地域活動に携わる方々と意見交換会を実施 ・コミュニティサポーターを配置し、地域からの相談に対応する体制をつくりました。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 41 地域団体・大学などの活動支援	継続
取組内容	<p>①にぎわい、交流のあるまちづくりをめざして、地域団体や大学、NPO 法人などが行う活動を支援します。また、「あつた堀川にぎわい委員会」と協働で「あつた堀川一斉清掃と子ども乗船体験」、「熱田ぐるりんウォーキング」を開催します。</p> <p>②「熱田神宮駅前地区まちづくり協議会」や「熱田湊まちづくり協議会」などの団体について、円滑に組織が運営されるよう関係部署と連携・協力します。</p>	地域力推進室
具体的な目標値	各種団体の会議への参加 30 回	
目標に対する実績	会議参加回数 33 回	
取組結果	<p>①あつた堀川一斉清掃と子ども乗船体験は 9 月に実施しました。（定例会は 9 回参加）</p> <p>②神宮駅前地区まち協は会議開催なし、湊まちづくり協議会は総会・勉強会に参加（2 回参加）。宮宿会は定例会 11 回、役員会 11 回参加</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所

取組項目	取組 42 お客さまの目線に立った接遇	継続
取組内容	<p>区役所に勤務する全ての職員は、来庁されるお客さまを元気に明るくお迎えします。</p> <p>①区役所職員を対象に、お客さま満足度向上のための接遇研修を実施します。</p> <p>②接遇研修の成果をもとに、各課が職場の課題に応じた研修を実施します。</p>	区役所全課
具体的な目標値	全所属を対象とした接遇研修の実施 研修受講者による所属別研修の実施	
目標に対する実績	全所属を対象とした接遇研修の実施 研修受講者による所属別研修の実施	
取組結果	<p>①来庁されるお客さまに安心と信頼を与える対応を実施するため、今年度の接遇のテーマを「スマートな情報共有でスムーズな接遇」と定め、各課室で「さわやかマナー研修」を実施しました。</p> <p>②市民課、福祉課を対象とした「接遇対応窓口調査」を令和5年11月8日に、全所属を対象とした「報告会、フィードバック研修」を令和5年12月12日に実施しました。「報告会、フィードバック研修」をもとに各職場において接遇研修を実施しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 43 業務改善	継続
取組内容	業務改善に積極的に取り組み、より質の高い行政サービスの提供を目指します。日頃より、朝礼や職場会議などを利用し、各所属で業務改善について話し合うなど、職員一人ひとりの意識を高め、さらなる業務改善につなげます。	区役所全課
具体的な目標値	業務改善を各課で1つ以上掲げ、取り組む。	
目標に対する実績	業務改善を各課で1つ以上掲げ、取り組んだ。	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> 市民サービスの向上やコスト削減を図り、職員全員が区民の立場に立った区民のための区役所を目指す目的で、各所属で業務改善に取り組み、その取組事例について報告させました。 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 44 さまざまな場面での区民ニーズの把握	継続
取組内容	区民アンケートや区民会議、学区懇談会などさまざまな場面でいただいた区政に対する区民の皆さまのご意見を、区政運営や各事業の取り組みなどに反映させるよう努めます。	企画経理室 地域力推進室
具体的な目標値	区民アンケートの実施 区民会議の開催 2回	
目標に対する実績	区民アンケートの実施 区民会議の開催 2回	
取組結果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に実施した区民アンケートにおいて、オンラインで回答できるようにしてほしいとのご意見を多数いただいたため、令和5年度からスマートフォンなどで回答できるように改善しました。 ・6月23日から7月13日にかけて区民1,200人を対象に区民アンケートを実施し、区役所全課及び区内関係公所で情報共有するとともに、令和6年度の策定に向けて検討を進めている第2期熱田区将来ビジョンに反映しました。なお、区民アンケートにおいて、区役所が区民ニーズの把握に努めていると思う区民の割合は75.1%という結果でした。 ・7月10日に地域の代表者の方や各種団体の方、公募による区民の方など42名に出席いただき、区民会議を開催しました。会議は「令和5年度熱田区区政運営方針」、「第2期熱田区将来ビジョン（案）」及び「令和6年度区の特성에応じたまちづくり事業」について、ご意見をいただきました。 ・2月5日に地域の代表者の方や各種団体の方、公募による区民の方など43名に出席いただき、区民会議を開催しました。会議は「第2期熱田区将来ビジョン（案）」、「令和6年度熱田区区政運営方針（案）」及び「名古屋市次期総合計画中間案」について、ご意見をいただきました。 ・全学区を対象にコロナ禍における地域活動における意見交換会（コミュニティ交流会）の開催（8月） ・団体との懇談会の開催：みなと医療生活協同組合（12月）、熱田区学童保育連絡協議会（1月） ・熱田区保育連絡会の要望事項へ書面回答（1月） 	
取組全体の達成度	☆☆☆	

取組項目	取組 45 さまざまな情報媒体の活用	継続
取組内容	<p>①区公式X（旧ツイッター）を充実し、区民の皆さまに迅速な情報提供を行います。</p> <p>②広報なごや区版や区ウェブサイトをよりわかりやすく、利用者が見やすいよう充実させます。</p> <p>③区役所 1 階に設置してある行政情報モニターを活用して、来庁者の皆さまに区政に関する情報やイベントなどの情報をお知らせします。</p>	<p>地域力推進室</p> <p>企画経理室</p>
具体的な目標値	ポスト回数 200 回	
目標に対する実績	ポスト回数 152 回	
取組結果	<p>①区公式ウェブサイトと連携し、ポストしました。</p> <p>②区ウェブサイトでは利用者が見やすいように、トップバナーや区のお知らせなどのトップページにイベント開催などの情報を掲載しました。</p> <p>③行政情報モニターで、日曜窓口や区役所、警察署、消防署、図書館などからのお知らせやイベント情報などを発信しました。</p>	
取組全体の達成度	☆☆	